

【公開版】

再処理施設
廃棄物管理施設
MOX燃料加工施設

設工認申請に係る対応状況について
～設工認申請に係る対応状況について（全般事項）～

令和4年2月16日



日本原燃株式会社

1. 設工認申請に係る対応状況について（全般事項）

- 昨年12月の審査会合で説明した体制強化及びレビュー方法の改善策を踏まえ、設工認の共通的内容に関する検討を継続。
 - ✓ **申請書記載事項（基本設計方針及び添付書類）の整理**（共通06別紙1～6）
 - ✓ **申請対象設備の明確化と検証**（共通09別紙）
- 各資料の事実確認について施設全体の設備物量が少ないMOX燃料加工施設を先行で実施。その内容を、順次再処理施設の資料に反映していく。
- 現在の状況は以下のとおり。

【MOX燃料加工施設】

<申請書への記載事項の整理>

- ✓ 各条文の共通資料（共通06別紙1～6）については、横断的な指摘事項への対応方針（資料構成、記載内容の統一、基本設計方針の記載方針等）を定めて資料に反映し、事実確認を実施。
- ✓ 第一回の申請対象である燃料加工建屋の申請範囲の考え方、溢水防護対策と溢水評価の整理中であるが、事業者として**基本設計方針、添付書類等に記載すべき事項の骨格について概ね整理済**。

<申請対象設備の明確化>

- ✓ 既に完了している申請対象設備の選定が、どのようなプロセスで実施したのか等を示すため、代表設備の設備図書を用いて、**基本設計方針と申請対象設備を紐づけ等の作業を実施し、事実確認を実施済**。

今後、その他の設備についても同様の資料を準備ができ次第、指摘事項を踏まえ提出予定。

以上の対応を踏まえ、補正申請に向けた準備を進める。

【再処理施設】

<申請書への記載事項の整理>

- ✓ MOX燃料加工施設での内容を再処理施設の資料に反映し、再処理施設として基本設計方針、添付書類等を策定。

<申請対象設備の明確化>

- ✓ MOX燃料加工施設の対応を踏まえ、再処理施設も同様の検証プロセス及び手法により、全申請対象設備の検証を行っていく。

以上の対応を踏まえ、補正申請に向けた準備を進める。